

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成29年～平成33年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(なんよ) 南予森林計画区 (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>南予森林計画区は、愛媛県南端部に位置し、東部及び南部は高研山、大黒山、篠山等の諸山で高知県に接し、西部は宇和海沿岸部に面している。区域面積は105千haで森林はその77%の80千haとなっている。年平均気温は17℃、平均年間降水量が2,300mm程度と温暖多雨で林木の生育に適した気候下にある。</p> <p>国有林野は、森林面積の15%にあたる12千haで、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町に分布している。これらは宇和島市の上水道の約7割を供給する須賀川の上流域にある若山・八幡山に代表されるように、主に河川の上流域に位置しており、その9割が水源かん養保安林に指定されている。人工林率77%であり、ヒノキが67%を占めている。人工林の齢級配置は、VI～XII齢級の森林が約8割を占めており、長伐期化を推進していく中で、これらの高齢級化しつつある人工林についても適切な施業を進めていくことが必要である。天然林は、滑床山、篠山の周辺にまとまって存在しており、これらを中心に足摺宇和海国立公園及び篠山県立自然公園の特別地区が指定されている。</p> <p>このような当計画区の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の面で高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化していること、とりわけ地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、林産物の供給や地域振興の寄与にも配慮しつつ、持続可能な森林経営及び開かれた「国民の森林」としての取組を推進することとする。</p> <p>本事業においては、森林及び木材の二酸化炭素の吸収・貯蔵庫としての役割を高度に発揮させるため、間伐の推進等森林整備と木材利用の促進やシステム販売等による安定的な木材供給を適切に進めていくこととともに、国民の安全と安心を確保するため、重要な水源地域等において、他の国土保全施策との連携の下に、各種事業を計画的に推進する。</p> <p>主な事業内容 更新面積 124ha ・ 保育面積 2,373ha 開設延長 4.10km ・ 改良延長 11.30km 総事業費 962,205千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B) 14,504,603千円		
	総費用(C) 1,213,813千円		
	分析結果(B/C) 11.95		
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>森林の持つ多面的機能の発揮するために、適切な森林整備、効率的な森林整備を実施するための路網整備であり、必要性、効率性、有効性が認められる。事業実施に当たっては、当該地域で増加の傾向にあるシカ被害への対策等を考慮されたい。</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給等の多面的な機能の高度発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

様式1

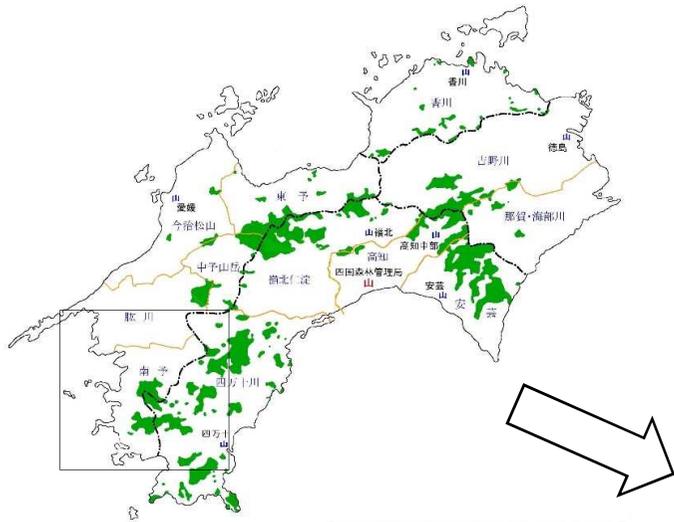
便 益 集 計 表  
(森林整備事業) 合計

事業名：森林環境保全整備事業  
施行箇所：南予森林計画区

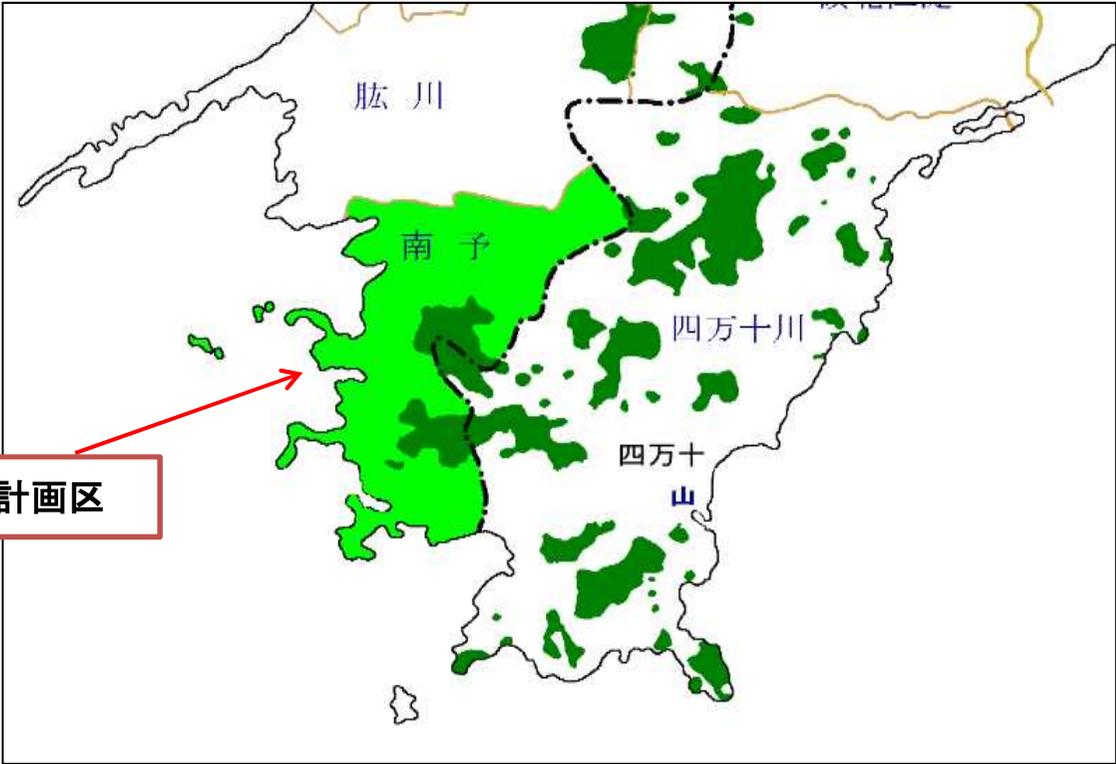
都道府県名：愛媛  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	3,079,210	
	流域貯水便益	1,099,047	
	水質浄化便益	2,417,844	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,756,293	
環境保全便益	炭素固定便益	1,575,432	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,947,718	
	木材利用増進便益	406	
	木材生産確保・増進便益	318,834	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	8,110	
	森林整備促進便益	301,709	
総 便 益 (B)		14,504,603	
総 費 用 (C)		1,213,813	千円
費用便益比	B ÷ C = $\frac{14,504,603}{1,213,813}$		= 11.95

平成28年度 森林環境保全整備事業 南予森林計画区(愛媛県) 事業概要図



対策計画区拡大図



南予森林計画区